

加古川平成ロータリークラブ
会長 原田 悟
幹事 高田 裕美
公共イメージ委員長 網本 徹
2680 地区ガバナー 城 守

例会日/毎金曜日 18:00~19:00・例会場/加古川プラザホテル
事務局/加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館
Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100
ホームページ <http://www.k-heisei-rc.com/> Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp

2025~2026 年度 RI 会長 フランチェスコ・アレッツォ

No. 1615 January 16、2026

例会プログラム

第 18 回(1 月 16 日)

「クラブ協議会」
(前半期反省)

高田 裕美幹事

例会当番 藤井

次週例会プログラム

(9 月 23 日)

21日(水)に変更

「職場移動例会」

於;パナソニック
エコテクノロジー株式会社

次週例会当番 藤井

前週例会報告

◇ ゲスト

◇ ビジター

◇ 出席率 先週 会員数 16名 出席数 9名 出席免除 2名 欠席数 5名
先々週 会員数 16名 出席数 11名 出席免除 2名 欠席数 4名

◇ 欠席者 5名 岡田 柴田 鳥井 藤井 松野

◇ メークアップ 2025年12月7日 2026-27年度補助金管理セミナー 榊



★1月の誕生日祝い

★ 榊会員に委嘱状

★ 林会員 祝還暦!

RIテーマ よいことのために手を取りあおう

本日の幹事報告

※ 例会欠席の時は必ず事前に事務局へ連絡！

① 各RC例会変更のお知らせ

明石東RC 2月12日(木)→<定款第7条第1節(d)により>

2月26日(木)→<定款第7条第1節(d)により>

高砂RC 2月13日(金)→2月14日(土)14:30~受付 東播第2グループ I.M.
於;加古川プラザホテル2階

2月27日(金)→休会【定款第7条第1節(d)による】

高砂青松RC 2月11日(水)→祝日

2月18日(水)→2月14日(土)14:30~受付 東播第2グループ I.M.
於;加古川プラザホテル2階

2月25日(水)→休会【定款第7条第1節(d)による】

加古川RC 3月17日(火)→例会取りやめ〔定款第7条第1節(d)(I)〕

3月31日(火)→例会取りやめ〔定款第7条第1節(d)(I)〕

加古川中央RC 2月19日(木)→2月14日(土) 東播第2グループ I.M.

於;加古川プラザホテル 14:30~受付

2月26日(木)→休会【定款第7条第1節(d)】

② 回覧します

・加古川ロータリークラブより2月14日開催の東播第2グループ I.M. 臨時駐車場のご案内

・地区より、RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)パートII開催のご案内

③ Boxにはぐるま会報 No. 130、ハイライトよねやま Vol. 310 を入れております。

④ RIより、榊会員にマルチプル・ポール・ハリス・フェロー(MPHF2)の襟ピンが届いております。

⑤ 城ガバナー、白井ガバナーエレクトより林会員に2026-27年度規定審議委員会副委員長の委嘱状が届いております。

⑥ 次週16日(金)の例会は、「職場移動例会」となっております。午前10時45分に加古川駅北ロータリーに集合します。時間厳守でお願いいたします。また本日より会費を受付で集金いたします。

1月度理事・役員会報告

I 協議事項

1) 2月プログラムの件

山本 裕一例会担当小委員長

2月6日(金): 高松会員の自己紹介&卓話「」→林会員に依頼

2月13日(金): 東播第2グループ I.M.のため14日(土)に変更 ホスト;加古川RC

2月20日(金): 例会取消〔定款第7条第1節(d)〕

2月27日(金): 例会取消〔定款第7条第1節(d)〕

→承認

2) インフォーマルミーティングの件

開催日程、開催場所を原田会長と林会員で相談

3) 2026-27年度より例会日変更の件

来週早々、再度アンケート集める

4) その他

ガバナー補佐、次々年度は加古川平成RCから輩出予定

II 報告事項

① 1月度ロータリーレート 1\$ = 156円 (現行156円)

② 12月度累計欠席連絡状況 電話: 0 メール: 13 fax: 0 出欠表: 2 なし: 0

SONG TODAY

それでこそロータリー

作詞・作曲 矢野 一郎（東京RC）
ピアノ伴奏・編曲 野田 精一（東京RC）

どこで会っても やあとのおうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

クラブ会報・雑誌
記録小委員会



インパクトある活動と「世界をオープンに受け入れる」ことを国際ロータリー会長エレクトが強調

1月12日、米国フロリダ州オーランドで開催中の国際協議会でオンライン H. ババロラ国際ロータリー会長エレクトが講演し、クラブでの歓迎的な環境づくり、意義あるプロジェクトの実施、人生を変えるようなロータリーでの体験を通じて、「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼びかけました。



「ロータリーは私たちを変えました。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。私たちは“世界を変える”ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。しかし、ロータリーが自分自身をどう変えたかについては、あまり考えません」

ナイジェリアのトランス・アマディ・ロータリークラブの会員であるババロラ氏は、十代のときにローターアクトクラブで活動したことが、恵まれた環境で育ったことによる狭い視野から抜け出し、より広い世界を見るきっかけになったと語りました。その気づきは、地域社会の人びとに読み書きを教える活動など、クラブが生み出したインパクトを目のあたりにしたことでもたらされました。

「ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています」とババロラ氏。「そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。成果だけでなく、インパクトを重視すべきです」

変化とインパクトは同じではない、と述べた上で、ババロラ氏はこう続けました。「変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです」

インパクトを理解する

ババロラ氏は、南アフリカ・ナイズナでの幼児教育の拡充や、ナイジェリアでの妊産婦ケアの改善など、ロータリー会員がインパクトを生み出していると述べました。ナイズナ・ロータリ

ークラブは、地域の女性たちが幼児教育センターを開設・運営できるよう支援しました。

「このプロジェクトは何千もの子どもと家庭に恩恵をもたらし、今後何世代にもわたって教育を提供し続けるでしょう」とババロラ氏。「このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます」

また、「ナイジェリアにおける健康な家族のための協力」の幅広いインパクトにも触れました。妊産婦と新生児の死亡率を減らすこのイニシアチブは、2022年に200万米ドルの大規模プログラム補助金を受領しました。

ババロラ氏はこう説明します。「ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。このプロジェクトは今後数十年にわたり、ナイジェリア全土で命を救い続けるでしょう」

より歓迎的な姿勢を

クラブの新しい入会者に対してよりオープンに歓迎するよう呼びかけたババロラ氏は、ロータリーアクト時代にロータリークラブに入りたいと思ったものの、クラブ会長から冷たい対応を受けた自身の経験について語りました。

「彼（クラブ会長）はこう言いました。“何という厚かましきだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ”、と」とババロラ氏は振り返ります。「そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。“子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした”」

当時と比べれば良くなったものの、まだ十分ではないとババロラ氏。一部のクラブは世界をオープンに受け入れるどころか、閉ざされたままであり、若い人たちが尊重されず、考えや背景が異なる人が歓迎されないこともあると述べ、人びとをよりよく受け入れるにはどうしたらよいかを考えるよう促しました。

「例会や奉仕プロジェクトでの皆さんの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです」

さらに、自身の変化を促すもう一つの方法は、自分のベストを超えることだと述べました。過去の募金活動やプロジェクト、会員増強の成功を振り返り、それを越えるべくさらに挑戦するよう地区リーダーに呼びかけました。

「自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができます」